



ロータリーの夢を 追いつけよう

1998-99年度 国際ロータリーのテーマ

第2560地区
ガバナー——富山 富一
会長——細井 増雄
会長エレクト——長谷川 有美
副会長——斎藤 弘文
幹事——西山 徳厚
副幹事——藤田 紘一
S A A——高森 章仁
副 S A A——五十嵐 寿一

例会日——毎週水曜日 12:30～
例会場及び——三条市旭町2-5-10
事務局——三条信用金庫本店内
例会場——TEL 35-3311
事務局——TEL 35-3477
FAX 32-7095

本日出席会員数	77名中 40名
先々週出席率	88.73%

先週のメイクアップ

8/20 東京北へ
林 光輝さん
8/21 東京東へ
林 光輝さん
8/24 三条南へ
清水良一さん、松谷昊吉さん、
外山一郎さん、五十嵐晋三さん、
山田富義さん、藤田紘一さん、
石橋育於さん、金子俊郎さん、
菊池 渉さん、加藤紋次郎さん



会長挨拶



細井増雄会長

それでは、ご挨拶申し上げます。本日は朝早くからご多忙のところ、竹嶋貫首様には我々三条ロータリークラブのためにご講話頂くと云うこととさせていただきます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

げます。

また、会員の皆様には早朝よりお勤めにお会い頂きまして、今日は少し蒸し暑いですが、朝のお経を聞かれて清々しい気分になられたことと思います。朝のお経に会われることはめずらしいことと思いますが、こういった経験をされ、また貫首様のお話しをお聞きすると云うことが、これからの皆様のお仕事、又生活されていく上で少しでもプラスになることを願ってこの早朝例会にさせて頂いたわけとさせていただきます。これから約三十分

予定でございますので貫首様のご講話をどうか謹んでうけたまわりますようお願い申し上げます。

幹事報告

西山徳厚幹事

◎長久の家より

合同運動会のご案内がとどいております。

とき 9月13日(日) AM9:00~

ところ 条南小学校グラウンド

ご講話

本成寺 第八十五世

竹嶋日香貫首殿

今日は朝早くからありがとうございます。普段ですとまだおやすみになっておられる方も多いかと思いますが、たまには朝早く起きて朝の空気を吸うのも良いことと思います。



ロータリークラブの皆様は錚錚たる方が多いかと思っておりますので、私どものような者がお話しするのがどうかと思っております。

昔は小さな小僧からだんだんにやりまして私どもの教えの言葉で学問御道にはげめと云う言葉がございまして、これは行も学も両方励めと云うことですが、今の坊様はあまり勉強しなくなりました。お寺の生活も皆様の生活も同じようになって来たものですから、毎日皆様が会社にお勤めなのと変わらなくなってきてしまいました。そのさえたのが私でございます、学校を出まして軍隊に入り、戦争が終って自分の寺に帰って来たこと云うようなことで、昔のように小僧に行って朝から晩まで励んだ訳でございませぬのでどうしても毎日の生活が新聞を読んだり、テレビを観たりすることが主になってしまいます。昔のようにお寺のこと坊様のこと専ら長年やっているわけがございませぬから、所謂サラリーマン化してしまう訳でございます。どうかそんな意味でお話しさせて頂きたいと思っております。

先程申し上げた通り、学校を出て昭和十四年に軍隊に入り、その当時戦争一色のものですから、いつ終わるか解らない状態でございます。戦争に負けて帰って来たわけでございますので、僧侶としての勉強もできる訳がなく、まして学校を出て直ぐに軍隊へ行ったものですから世の中のことよくわからないと云う中で育って来たわけでございます。昔の修行は、私はわからないのですけれど、要するに小さい時にお坊さんになってそれから段々と勉強して行く。その勉強が今で云う小学校とか中学校とか大学とか云う勉強そのものだったものですから、それらが全部お寺とかお坊様の関係のことでした。そういうことで、勉強を深く長くしたわけでございます。今は大学へ行きましても四年間で単位をいくつ取ればよいと云うようなことで、私なども大学へ行っているよりも野球のバットを振り回している時間が長かったのですが、それでも月謝を納めていますと大学を卒業させてくれるものですので、野球の話の方が勉強のことよりも良くわかっているわけです。

そんなことを修行しながら、今年の四月で満八十四歳になりました。その間に何をしていたかと申しますと、寺の住職、寺の坊様としての修行と云うことはほんの上っ面だけで、お寺の坊様としての人間の能力的なことよりもより人間的な面で大事なことがあると思うようになりました。

今の大学生で将来坊様になるために勉強をしているのに、それを聞かれるとなんとなく遠慮しがちな気持ちになってしまうことが多いようですけれど、坊様になると云うことは就職と違うわけですが、どうしても悪い意味でサラリーマン的な根性になる場合が多いわけです。

しかしながら、大学と云う所は大変有りがたい所で、所謂理屈を教えて下さいます。理屈は非常に宜しいのですが、実際の坊様の世界は、今も昔も、坊様としてしなければならない行いが大事にならなければならないのです。本を読んでお経を解釈しているよりも、お寺に住んでお坊様として生活していくその上でどんな行ないをやっていくか、そこが大事なことなのです。

同じ坊様でも、あの人は東京大学を出ている。あの人は早稲田を出ている。あの人はどこそこの大学を出たと云うようなことで、東京大学を出た坊様はたいしたもの、どこそこの大学を出た坊様はたいしたものではないということになりがちですが、坊様と云う者は精神的な面、行ないと云うのが一番大事ではないかと思っております。どうしても理屈が多くなりがちですが、そういう意味におきまして、皆様は各会社で責任ある地位におられるかと思っておりますので、常に自分の仕事を

頭の中で理解するのではなく、実際の行ないの中で理解することが大事ではないかと思っております。

私達が世の中を渡っていく上で、自分の言ったこと、信じていること、行なっていることが我々人間社会に通用する時に、その人は立派な社会人と言えるわけです。どうかそういうことで自分自身に自分が信頼を持つようなそんな生活をして頂

きたいと思っております。自分の行ないのなかで、自分の言ったこととの違いがないようにして頂きたいと思っております。しかしながらそれがなかなか出来ません。出来ないながらも努めて行かなければならない。こういうことではないかと思っております。本日はどうもありがとうございます。



編集後記

栃木や福島などで大雨による洪水の被害が出たり、また経済問題では株価が暴落したりとなにかと騒がしいこの頃です。我々の社会に対する不安感が天候に影響を及ぼしているのでしょうか。スッキリとした青空が待ちどおしいこのごろです。

(S)



例会案内

三条RC	9月9日例会	三条卸売(協) 理事長 細井増雄会員
	9月16日例会	三条工業会 理事長 斎藤弘文会員

メイクアップをどうぞ

三条南RC	9月14日例会	会員卓話
	9月21日例会	クラブフォーラム
三条北RC	9月15日例会	休会(祝)
	9月22日例会	クラブフォーラム
加茂RC	9月17日例会	外部卓話 加茂警察署 平出生活安全課長
	9月24日例会	クラブフォーラム
燕RC	9月17日例会	会員卓話
	9月24日例会	クラブフォーラム
見附RC	9月17日例会	会員卓話
	9月24日例会	夜例会